

平成 22 年度 e-AAC ワークショップ「GIS 講座」

「無料の GIS ソフト、電子国土 Web や GoogleEarth を使いこなそう」研修会の概要

NPO 法人 電子自治体アドバイザークラブ

(URL: <http://eaac.sakura.ne.jp/>)

第 1 回 講演会

■日時: 平成 23 年 2 月 21 日(月)、13:00~17:00) 会場:奈良大学J201

■講演 1:「住所から地図をつくり Web で見よう」(奈良大学文学部地理学科教授 碓井照子氏)

【概要】

2007 年地理空間情報活用推進基本法が公布され、基盤地図情報の整備も進み、電子国土 Web の利活用が増加しています。また、Web アプリケーション利用の世界 1 位も Google map で、いまや地図情報は、web の世界では不可欠のものになり、無料の GIS ソフトも充実してまいりました。住所さえ分かれば、電子地図上に商店や学校などの位置を地図化することができます。アドレスマッチングの原理と実例について講演します。

【碓井照子氏のプロフィール】

1948 年生まれ、奈良女子大学大学院地理学専攻修了(1973)、英国エジンバラ大学在外研修(1990-91) 現在、奈良大学文学部地理学科教授／日本学術会議会員(社)日本測量協会 GIS 研究所所長／元 GIS 学会会長、GIS 学会理事、日本地理学会代議員、日本都市学会理事、GIS 資格認定協会幹事、ISO/TC211 国内委員会委員他

■講演 2:「基盤地図情報の利活用について」(国土地理院地理空間情報部電子国土調整官 佐藤浩氏)

【概要】

国土地理院は、地理空間情報活用推進基本計画の主要施策である基盤地図情報の全国的な整備を平成 19 年度から推進している。基盤地図情報は、電子地図上における位置の基準であり、13 項目(道路縁、建築物の外周線など)からなる。基盤地図情報は、初期整備にあたり都市計画区域内では縮尺レベル 1/2,500 以上の精度で、都市計画区域外では縮尺レベル 1/25,000 の精度で作成されており、平成 20 年4月から、国土地理院のホームページにおいて無償提供している。当日は、利活用の事例や電子国土 Web システムの概要を絡めてプレゼンテーションを行う。

【佐藤浩氏のプロフィール】

1967 年生まれ、筑波大学自然学類卒業、博士(工学)、国土地理院地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室主任研究官を経て、現在同院地理空間情報部電子国土調整官、日本地理学会、日本地形学連合、日本写真測量学会、日本国際地図学会の会員。

第 2 回 実習

■日時: 平成23年 2 月 28 日(月)、13:00~17:00) 会場:奈良大学J201

■実習「無料 GIS ソフト MANDARA の概要と基本操作」(奈良大学文学部地理学科教授 酒井高正氏)

【概要】

教育から実務までの幅広い分野で活用されている無料 GIS ソフト「MANDARA」はバージョンアップを重ねてますます便利な実用ソフトになってきています。まず MANDARA の概要と入手方法を紹介してから、サンプルデータを使って実際に統計地図を描画しながら MANDARA の基本操作の実習を行います。

■ 実習「統計地図を作り GoogleEarth で見よう」

【概要】

MANDARA は、エクセル等の表計算ソフトで用意した統計データを地図化する用途に最適です。エクセル上で都道府県別や市区町村別の統計データを加工して MANDARA で地図を描画するプロセスの実習を行います。また、地図を KML 形式で出力して、GoogleEarth 上に表示させる方法も紹介します。

【酒井高正氏のプロフィール】

1960 年生まれ、京都大学文学部大学院史学科地理学専攻修了、奈良大学文学部地理学科教授
近畿都市学会理事／日本地理学会会員／人文地理学会会員／日本人口学会会員／

第 3 回 実習

■日時：平成 23 年 3 月 7 日(月)、13:00～17:00)

会場：奈良大学 J201

■実習「基盤地図情報とアドレスマッチングによる地図づくり」

「電子国土による安心安全マップの作成」(奈良大学文学部地理学科教授 碓井照子氏)

【概要】

国土地理院の基盤地図情報は、身近な地域の地図が大縮尺(2500レベル)で作成されており、無料でダウンロードできます。この実習では、基盤地図情報のダウンロードの仕方
解凍、そして無料の GIS ソフトを使用して地図として表現します。また応用例として電子国土 Web(無料)を利用した安心安全マップの作製法についても指導します。

第 4 回 実習

■日時：平成 23 年 3 月 14 日(月)、13:00～17:00)

会場：奈良大学 J201

■実習「町丁別の高齢化マップを作ろう(Ⅰ)(Ⅱ)」(奈良大学文学部地理学科教授 酒井高正氏)

【概要】

町丁目や字等の小地域統計データを地図化するために必要な地図ファイルは、MANDARA に用意されたサンプルには含まれていません。ここでは、独立行政法人統計センター「政府統計の総合窓口 e-Stat」サイトの「地図で見る統計(統計 GIS)」コーナーから、国勢調査の小地域単位の統計と地図の双方のデータをダウンロードし、MANDARA 用に加工して地図化する方法の実習を行います。出力地図の背景に新旧の地形図画像を表示させる方法も紹介します。余裕があれば、他のタイプのダウンロードデータ(地域メッシュや農業集落など)の利用方法などにも触れてみます。

【主催】： ・奈良大学文学部地理学教室 ・特定非営利活動法人 電子自治体アドバイザークラブ

【後援】:

- ・総務省(近畿総合通信局) ・経産省(近畿経済産業局) ・奈良県
- ・奈良県市長会 ・奈良県町村会 ・奈良市教育委員会 ・大和郡山市教育委員会
- ・生駒市教育委員会 ・天理市教育委員会 ・木津川市教育委員会 ・葛城市教育委員会
- ・地理情報システム(GIS)学会 ・奈良地理学会 ・奈良県測量設計業協会
- ・奈良県土地家屋調査士会 ・奈良 GIS 研究所

【協賛団体】:

- ・(財)日本地図センター ・西日本電信電話株式会社奈良支店 ・富士通株式会社
- ・シャープ株式会社 ・近鉄ケーブルネットワーク株式会社(KCN)
- ・特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES(略称:NPO 法人 CCC-TIES)